

3月のくらし

3月21日は春分の日です。

どなたも国旗をかかげましょう。

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集 星白1 印刷 名南部 4風5 郵社 郎社 町長 川中村 役所 西吉 町西 西村 所長 川中

一人口の動き一

3月1日現在

|     |       |    |
|-----|-------|----|
| 男   | 6157  | 人  |
| 女   | 6550  | 人  |
| 計   | 12707 | 人  |
| 世帯数 | 2619  | 世帯 |

冬のレクリエーション

「雪上運動会」

ニ・二一 伊友で写す



三月の行事

- 一日 千手囃子員会議
- 二日 上野・橋囃子員会議
- 三日 仙田囃子員会議
- 四日 農業委員会
- 六日 保育園審査会
- 七日 町民スキー滑降大会
- 八日 千手婦人学級発表会
- 十日 町議会
- 十一日 定例議会
- 十三日 社土財厚常任委員会
- 十五日 十六日 総文、産経常任委員会
- 十五日 橋、白倉中卒業式
- 十六日 川西中 卒業式
- 十七日 仙田中 卒業式
- 十九日 定例教育委員会
- 二十一日 春分の日
- 二十三日 乳児検診
- 二十五日 二六日 町議会
- 二十九日 乳児検診

家庭主婦への科学調査

科学技術の進歩に伴い、家庭生活の面でも電気製品の普及などによって、科学知識の必要性が高まっています。先般、科学技術庁で全国の小学生の母親を対象として「母親の科学知識等に関する世論調査」を行いました。

そのうちいくつかを取りだしてみます。川西町のおかあさんが次の間に答えてみてください。

「あなたは動物や植物はすべて細胞からできていることを知っていますか」

「物が燃えるということ、物質が酸素と化合することであるのを知っていますか」

「あなたは科学や技術のことに関心がありますか」

「あなたは科学や技術のことについて知りたいという気持はありますか」

「このなかで自宅にあるのはどれとどれですか」

物差し 巻尺  
計量カップ 計量スプーン  
マス ハカリ 体重計  
寒暖計 温度計  
体温計  
湿度計  
そろばん  
計算尺

「あなたは十年ぐらい前とくらべて、毎日の暮らしの上で科学的な知識が必要になったと思えますか、そういうことはありませんか」

(科学技術庁「母親の科学知識等に関する世論調査」より)

今月の話題

「電流は電子の流れであることをごぞんじでしたか」

「これまでヒューズやコード、ソケットなどのかんたんな修理をあなたがしたことはありませんか」

「お宅のヒューズや安全器が何アンペアまでたいじようぶかごぞんじですか」

「お宅にある電気器具のどれが何ワットぐらいか、たいじようぶかごぞんじですか」

「電気器具のうち同時に使ってもヒューズが切れないとか、同時に使ったら切れるという計算は知っていますか」

「あなたは科学や技術の話は何となくとつきにくいとか、分りにくいという気がしますか」

「あなたは科学や技術のことに関心がありますか」

「あなたは科学や技術のことについて知りたいという気持はありますか」

「このなかで自宅にあるのはどれとどれですか」

物差し 巻尺  
計量カップ 計量スプーン  
マス ハカリ 体重計  
寒暖計 温度計  
体温計  
湿度計  
そろばん  
計算尺

「あなたは十年ぐらい前とくらべて、毎日の暮らしの上で科学的な知識が必要になったと思えますか、そういうことはありませんか」

(科学技術庁「母親の科学知識等に関する世論調査」より)

# 一 町議会報告

## 一千五百万の補正を可決

### 請願等十一件を委員会付託

一般会計、特別会計の補正予算を主体として第二回臨時会が二月二日に招集された。

付議されたのは総額一千五百四十万五千九百九十九年度一般会計補正予算を筆頭に、国保、診療所、農業共済の三つの特別会計を含めて予算の全分野にわたる広範な補正が行なわれた。

補正予算のほかに、請願九件陳情二件が上程され、それぞれ所管の常任委員会に付託、継続審査となった。

なお審議に先だって田口助役から入院中の中村町長の容態について次のような報告があった。

「中村町長は、去る一月二十六日に精密検査を受けるために十日町病院へ入院した。先般その結果について主治医の村田副院長に伺ったところ、カゼのほうはよいということであるが、肝臓障害があるのでその治療に相当の時間を要するという話であった。しかし本人は非常に元気で、自分ではかゆいところも痛いと云っておられた。相変わらず口のほうは達者で、入院前より元氣だという印象を受けたが、当分あくまで療養することになると思う。」

### 給与費等ほか全般にわたって補正(一般会計)

一般会計の補正は専決を含めて七回目であるが、金額の大きいことと、範囲の広いことではこれまでとの補正中第一である。補正総額千六百六十九万二千円のうち、不要額の更正減額二十八万四千円を差し引きて千五百四十万八千円が追加され、歳入歳出の総額はそれぞれ二億三百五十五万三千円となった。

補正の原因となった歳出の増は九月一日にさかのぼって改定された給与・報酬の増四百四十二万一千円を筆頭に、土木農林の事業費

千円、ブルドーザ使用料五十万五千円、国庫支出金として理振法・産振法その他の国庫補助四十三万五千円、農業センサス・国勢調査等の県支出金十三万九千円、消防施設地元寄附金十八万八千円、その他十八万九千円となっている。

### 歳出各款のあらまし

歳出の内訳を各款別に見ると次のとおりである。

第一款 議会費八十二万四千円は、議員報酬及び事務局職員給与の追加及びこれに伴う共済費、負担金等である。

第二款 総務費二百五十八万五千円の内訳は、総務管理費、徴税費、戸籍住民登録費、選挙費、統計調査費の各項を通じて、給与費の追加が九十五万九千円、町長交際費百円、各種負担金二十一万二千円、財産管理費十五万八千円、賦課徴収費十萬一千円、統計費十三万六千円、広告料五万五千円、支所費二万五千円となっている。

第三款 民生費五十三万一千円は、給与費四十七万二千円のほか老人ホーム負担金六万一千円がある。

第四款 衛生費四十二万六千円は、給与費十萬四千円、仙田診療所の県道改修に伴う模様替え並びに自動車修繕料二十六万二千円、マイクロバス修理等六万円のほか公衆衛生推進委員の研修費十三万五千円は予防費その他の更正減と相殺されている。

第五款 農林水産業費二百六十九万八千円は、給与費六十九万六千円、ブルドーザ修繕費等七十四

万、農業共済特別会計繰出金四十万、小規模土地改良事業補助金三十万四千円、県単養蚕協業事業補助金二十万、寮島林道ほか災害復旧費三十万四千円、ほか旅費その他の事務費五万四千円である。

第六款 商工費十萬円は、給与費四万四千円、商工振興費として四万三千円、旅費、役務費等の事務費一萬三千円。

第七款 土木費二百四十万二千円は、給与費十四万七千円、道路橋梁費二百二十三万一千円これは国庫関係改良、舗装等の負担金除雪燃料費、自動車燃料、原材料費及び関係機関に対する負担金である。事務費は二万五千円。

第八款 消防費百三十七万二千円は、防火水槽、水路、火の見やぐら等消防施設費八十二万八千円、各種負担金五十万七千円、給与費三万七千円である。

第九款 教育費二百七十九万六千円は歳出各款の中で最も大きい額である。その内訳は、教育総務費六十八万、小学校費百九万五千円、中学校費八十一万、高校費三万、社会教育費十八万一千円となっており、これらを通じて給与費は更正減と差し引きて三十六万九千円である。

給与費以外の経費を項別に見ると次のとおりである。教育総務費において各種負担金二十三万五千円。小学校費において警用費、備品、賞金その他の学校管理費三十九万七千円、教育振興費として理振法備品、教材費、特殊学級備品収入二百八十六万八千円のほか、備品費、需用費、給食費等の不要もしくは削減費百九万七千円を減

額して収支を合わせたもので、差し引き二百八十六万八千円の増となり、累計は三千三百三十四万一千円となった。

農業共済特別会計の補正額は、歳入歳出それぞれ五十六万六千円の増である。その内訳は、給与費の増十六万六千円を同額の県支出金でまかない、一般会計から繰り入れた四十万円を共同防除補助金その他の損害防止費に追加したものである。

第十款 災害復旧費二十六万二千円は、給与費十萬六千円のほか土木町費災害復旧費十二万八千円農林町費災害復旧事務費二万八千円である。

第十一款 公債費百円は、減税補償債利子十三万四千円及び一時借入金利子八十六万六千円である。

以上のほか四十一万二千円を準備費に繰り入れて収支を合わせた予算である。

### 国保会計

国保(事業勘定)特別会計の補正は、歳出の補正だけで総額には異動がない。補正総額は三十九万五千円、内訳は、給与二十九万三千円、審査手数料四万二千円、一時借入金六万円の増に対して、保険料徴収費、趣旨普及費等のうち不要額九万七千円の減額と予備費二十九万八千円を充用して収支を合わせた補正である。

### 橋診療所会計

歳出は、給与の増百三十一万六千円、医薬材料百八十四万九千円一時借入金利子八十万円、計三百九十六万五千円。これに対して財源は、主として千手診療所の診療収入二百八十六万八千円のほか、備品費、需用費、給食費等の不要もしくは削減費百九万七千円を減

額して収支を合わせたもので、差し引き二百八十六万八千円の増となり、累計は三千三百三十四万一千円となった。

### 農業共済特別会計

農業共済特別会計の補正額は、歳入歳出それぞれ五十六万六千円の増である。その内訳は、給与費の増十六万六千円を同額の県支出金でまかない、一般会計から繰り入れた四十万円を共同防除補助金その他の損害防止費に追加したものである。

### 請願

この議会に提出された請願とその付託結果は次のとおりである。これらは、それぞれ新年度予算審議とららみ合わせて審査される。

昭和四十年年度労働金庫公金預託請願(財厚委員会付託)

上野小学校給食棟新築等についての請願(総文委員会付託)

南北沢災害復旧費利子補給に関する請願(財厚付託)

町道木落下原線舗装工事助成に関する請願(社会土木付託)

発電所通り道路の電柱移転並びに路面舗装工事着手促進請願(社会土木付託)

白倉中学校教員住宅建設に関する請願(総文付託)

水道管道路横断工事助成金交付請願(財厚付託)

沖立部落幹線道路側溝改修工事に関する請願(社会土木付託)

仙田中学校特別教室建築についての請願(総文付託)

### 三月のくらし あれこれ

三月は一日(月)の全国緑化運動から始まります。

三日(水)は母の節句で、女の子のお子さんのいる家庭では、この日はたのしい忙しさを過されることとしましょう。同じこの日は、耳の日でもあります。とくに新入学の子どもは、一度よく耳の検査をしてもらっておいってください。耳の悪いことを案外周囲のものが見ずしてしていることが多いのです。

### ゆく冬のカゲに

小雪を印象づけたこの冬が、後半になつてこれほど降るとは思つてもみながつた。にもかかわらず関係者の努力により、主要路の無雪が確保されてます。春をむかえたといえる。出歩くことが商売のわたしがワカノコ歩いたのはほんの二、三回だけ。それと、いものも、親切な人たちのご厚意にあまじからであつた。

### 冬着のよこれ

あたたかな日ざしが、急にたんせんやばんでんのよこれを目立たせませす。といつてまだまだ寒い日もあることなので、これらの冬着に、簡易クリーニングをほどとしておきましょう。

トケに会うたとえのようにあつた。中には、雪のノボリ坂の途中でわざわざとめてくれた人もあつた。大海さんや高橋さんのブルトリーザに便乗して帰庁できたこともある。よけてやつてもあいつはあつたか、平気でドロをかける行く車もあるというのに。

### 社会教育

むようにおとします。そのあときれいな水で、ほかすようにふきとり、日と風にあてるとさつぱりします。

### 健康

春といつても、まだ日射しもよく、部屋にこもりがちになりませんが、幼児にとつておそろしいのは、クル病にかかるとです。これをふせぐには日光浴がいちばんです。日ごと春めいてあたたかくなるこのごろ、できるだけ、戸外に連れ出すようにいたしましょう。

### 固定資産課税台帳

せひごらんになつてくだされ

三月一日から三月二十日までの間、次の場所で開催し、昭和四十年年度の固定資産課税台帳を関係者に縦覧いたします。縦覧により課税台帳の価格について不服のある場合には不服申し立てを受けつけることになつております。

ことしは前年の評価額が据置になることとす。したがつてこの一年間に土地、家屋について異動がない場合には昭和三十九年度分とまつたく同じ価格です。

### 縦覧場所及び時間

川西町役場税務係午前九時より五時まで。休日を除きます。

こう云つてふたたび上野地区婦人会長の職についた。全会員が条件をのみ、一致協力を誓い、新しい婦人会づくりにとりくみはじめた。会則にしたがい、仙田連合婦人会長の選挙に圧倒的多数で当選した登坂こまさんは、その場でいともあつさりとい会長を引き受けた。佐藤愛子現会長をはじめ、開票の結果にかたすをのんでいた全会員の間に感嘆の音がなされ、万雷のような拍手が鳴りやまなかつた。婦人会の前途を思ふ登坂さんの熱情と勇気が、まつたく心ニクイほどよくわかつたシーンだつた。お百度祈りをすすめてもなく、わずか一時間の総選挙でかんたんに決まつたのである。ことし以後、仙田の婦人会には、会長えらびに苦勞しない前例がつづくだろう。

### 前略

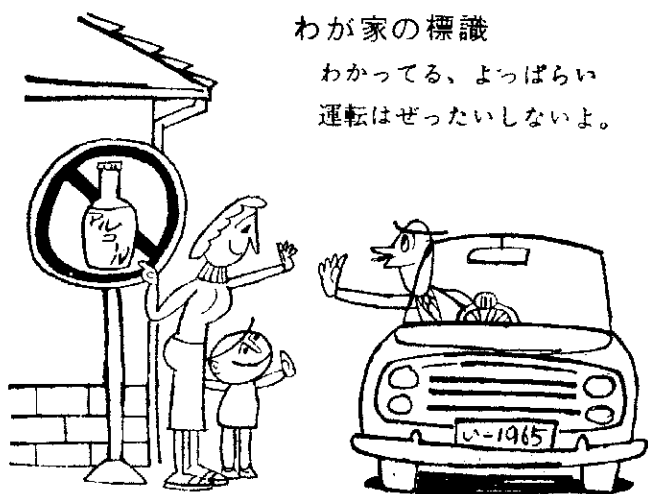
本日は広報紙についてお願ひいたします。発行すること七十五号(月十五日)より七十五号まで大切に保存しておりますが、保存する場合に不便を感じております。

### 町の声

そこで私はこの広報を安易に保存できるように、広報にノック穴をあけてきたら町から広報を保存する帳面みたいなものを各戸ごとに配布していただいたら、まつともつと便利でしかも町民全部が大切に保存されるのではないでしようか。予算の関係もあるでしようがせひ実現させていた

### わが家の標識

わかってる、よっぱらい運転はせつたいしないよ。



寒い時期の安全運転

### 戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

|    |     |           |
|----|-----|-----------|
| 田村 | 浩樹  | 二男二男発電所通  |
| 相崎 | 和裕  | 長男発電所通    |
| 羽鳥 | 和子  | 昭二長女 伊友   |
| 野上 | 明美  | 時雄長女 上町   |
| 中村 | 正男  | 衛長男 坪山    |
| 山本 | 由美  | 長夫長女 中島町  |
| 上村 | 知春  | 美知夫二夫 学校町 |
| 市川 | 茂   | 松男二男 中屋敷  |
| 数藤 | 育夫  | 忠夫二男 沖立   |
| 上村 | 雄一  | 信雄長男 上野   |
| 青木 | 裕   | 弘志長男 上野   |
| 斎藤 | 見吉  | 貢長男 上野    |
| 上村 | まゆみ | 達平長女 上野   |
| 高橋 | 一志  | 義平長男 三領   |
| 小林 | 美知子 | 桂太郎長女 元町  |
| 丸山 | 篤   | 謙二男 下原    |
| 登坂 | 正人  | 寅蔵長男 岩瀬   |
| 増田 | 博文  | 松治長男 室島   |
| 登坂 | 一浩  | 作一長男 赤谷   |
| 登坂 | 広美  | 等二女 赤谷    |
| 登坂 | 多恵子 | 復松長女 赤谷   |
| 川崎 | 守保  | 二男 越ヶ澤    |

### 昇天—御めい福を祈る

### 部落だより

雪にうずもれて小半年とか。最近、どの部落にいても春さきになるとみられるのが雪上娯楽大会とか。

長い冬から開放されて一日みんなで笑い、歌うのも健康なからたづくりにひと役。

さて、毎年行なわれてきた娯楽

### たかさご—御円満に

|    |     |      |    |
|----|-----|------|----|
| 丸山 | 治郎吉 | 霜條   | 八八 |
| 登坂 | 兵作  | 赤谷   | 八四 |
| 若月 | ツヤ  | 田戸   | 八二 |
| 市川 | 藤吉  | 平見   | 八一 |
| 斎木 | カウ  | 小脇   | 八〇 |
| 上村 | コト  | 上野   | 七七 |
| 片桐 | ナカ  | 小白倉  | 七五 |
| 数藤 | 俊太  | 沖立   | 七三 |
| 片桐 | 匡紀  | 大白倉  | 六二 |
| 丸山 | ハナ  | 新町新田 | 六一 |
| 村越 | 長一  | 野口   | 六一 |
| 木村 | 壮平  | 仁田   | 六一 |
| 尾名 | クマ  | 上野   | 六一 |
| 高橋 | ルミ子 | 赤谷   | 五七 |
|    |     |      | 一九 |

### 仙田地区嘱託員

三月から変わりました

|     |        |
|-----|--------|
| 中仙田 | 小林 猪作  |
| 室島  | 高野 寅五郎 |
| 桐山  | 桑原 金重  |
| 小脇  | 齊木 誠一郎 |
| 高倉  | 高橋 忽八郎 |
| 藤谷  | 市川 信二  |
| 藤沢  | 佐藤 福松  |
| 田戸  | 青木 良三  |
| 越ヶ沢 | 川崎 延夫  |
| 赤谷  | 小川 邦勇  |
| 岩瀬  | 登坂 邦視  |
| 大倉  | 中条 實吉  |
| 大白倉 | 桐生 昌平  |
| 小白倉 | 片桐 栄二  |

### 衛生予防接種は

うけましよう

一、腸バラ注射

初回免疫—昭和36年3月1日

昭和37年2月28日

までに生まれた幼児は三回します

追加免疫—昭和38年3月1日

昭和36年2月28日

までに生まれた方は一回します

ただし、中・小学生は学校で行ないます。

### 授与不児マヒ予防

四月下旬 予定

三ツツ反・BCG接種

四月下旬から五月予定

なお、該当者にはそれぞれ通知しますが、おれ落ちについては申し出て下さい。期日・場所については決定次第お知らせします。

### 予防接種と予防注射

これはどちらがほんとうの名称かとよく聞かれます。

予防接種のことを予防注射といっている人もいます。たいていのワクチンは注射をします。しかし種痘のように「ヒフ」を傷つけて接種するものもあります。また経口ポロオワクチンのように飲むものもありますから予防接種と総称するのが正しいでしょう。

### 部落こそつて

### 雪上運動会

第九回を数える伊友部落の雪上運動会が、去る二月二十一日午前九時から公民館裏を会場に開かれた。この日は朝からみぞれまじりの悪天候だったが、農休日を利用してのレクリエーションでもあり過去八年間も続いた伝統を誇るこの運動会には関心も高く、オジジもアネサも大勢集まり、十二種目にわたって競技が展開され、幼児から年寄りまで四組に分かれてかんじき競走やふうせんわり競走などで一日中ほがらかな笑いがひびいていた。

### たばこは町内で買ひましよう



▲町内で毎日あなたがお買ひになつたたばこの中から、「たばこ消費税」として四百五十六万円も町の収入となりました。これは、昨年4月1日からことしの3月31日までの見込額です。

▲たばこ買うならぜひ町内で買つていただきますと町政に大きくひびきます。出張などするときは町内でお買ひ求めねがいます。

### 人事

▲退職(二月二十八日付)  
野沢政範 産業課農林係  
清水秋子 財政課税務係

### かわにし 俳壇



中屋敷 南雲 良子

○女兒多し優しき色の毛糸編む  
○雪罪々と冬の大地を圧しおり  
咳く夫の傘に飛びつく寂かな  
俳句で写生できる心は美しい  
こういう気持をいつも表現できる生活はたのしいと言うか  
上野 金子 良子

竹の枝しかと押へて残る雪  
かたくなに残る一塊の雪である。

中屋敷 小林たみい  
雪の原川一筋の息吹きをり  
豆まきの声の入り来し受話機かな  
屋根越しの話続きで雪おろす